フィンドレー大学月例報告書【8 月】

芸術文化学科四年

私はフィンドレー大学に 8 月～12 月の期間（1 セメスター）で留学しています。私は現在大学四年生で、必要な単位を取り切り、内定も決まっているため、残された時間を自分の成長に充てたいと考え、留学を決意しました。

【協定校留学について】

協定校留学のメリットを簡潔にまとめます。

①休学をする必要がない（一時的に学費を二重に支払うことになるが、文芸大に払った学費が後から払い戻される）

②SUAC 奨学金が利用できる

③単位互換制度を利用できる

④日本との関係が厚い大学の為、日本の留学生向けのイベントが多く、渡航後のサポートが手厚い

協定校だからといって、各種手続きを大学側がやってくれると期待してはいけません。手続きは全て自己責任で行い、フィンドレー大学のスタッフと英語のメールでやりとりを行う必要があります。言語が違うと感覚が鈍感になるのか、私は手続きの最中にフィッシング詐欺にあいました。幸い実害は無かったものの、手続きは色々と大変でした。文芸大の方からも注意を促されると思いますが、ビザの予約はできるだけ早く行うべきです。フォームへの入力事項が多いだけでなく、面接予約も早く行わないとすぐに埋まってしまいます。航空券についてですが、直行便をお勧めします。乗り継ぎは費用が安く、魅力的に感じるものですが、他校からの留学生で、乗り継ぎ先の飛行機で欠航が相次ぎ、海外の空港で空席が出るのを待ち続ける（スタンバイ）事態に陥った人がいます。彼は二日間空港で寝泊まりを行いました。どうしても乗り継ぎで行きたい人は、日本の航空会社を経由するのが賢明でしょう。留学生の中には指定された日よりも早く到着した人もいます。航空券の値段は日によって大きく変化するので、日程を前倒しにするのも一つの手です。その際はフィンドレー大学の担当者へ必ず相談しましょう。

【ウェブサイト等には書いていないが、持参すると重宝するもの】

・シャワーサンダル…必須級。シャワーは共用なので、無いと大変です。私はウォルマートで購入しました。

・水筒…アメリカの水道水は飲めません。施設の各所に飲料水を無料で補充できるスポットが設けられています。水筒を持参すると便利です。

・掛け布団・シーツ…寮にはマットレスしかないため、掛け布団とシーツを持参するべきです。マットレスはかなり固いので、マットレスパッドを導入するのがおススメです。

【寮】
私は Fox Hall という寮を選択しました。寮の選択は三回チャンスが設けられており、それぞれアメリカの時間帯に合わせて行われるので、日本の深夜に起きて手続きするのが大変でした。寮の種類によってキッチンがついていたり、娯楽部屋があったりと違いがあるのでしっかりと調べておくのが良いです。寮の種類によって費用も多少前後します。寮は私のようなアパートメントのタイプと、一軒家のタイプがあります。キッチンで料理をしたいという理由で留学生の多くは一軒家に住んでいます。

【ミールプラン】
私は一学期中に 200 食食べることが出来るプランにしました。一番安いのは一週間に七食のプランですが、一週間のうちに使い切らないとリセットされて余りを無駄にしてしまうので注意が必要です。私の寮はキッチンもないので 200 食のプランにしておきました。基本的にキャンパス内に住んでいる学生はミールプランに申し込むことを求められるのですが、留学生の中にはキッチン付きの寮に住んでおり、自分は Freshman(一年生)ではないということを伝え、ミールプランの登録を免除することが出来たと言っている学生も一人います。毎食自炊ができる人は食費を抑えることが出来ます。ただし、一番近くのスーパーも徒歩では片道 30 分かかるので、車や自転車を持っていない留学生にとっては食材を買うのが大変かもしれません。一応大学がレンタサイクルのサービスを提供してくれており、＄100 のデポジットで自転車を借りることが出来ます。ただし、数が少ないので注意してください。私は申請しましたが、既にすべて借りられており、利用できませんでした。

【到着後】
最初の一週間は留学生向け、その後の一週間は全体向けのオリエンテーションがあるので、取り敢えず全て参加することをお勧めします。色々な人と知り合うきっかけになりますし、アメリカ文化を肌で感じられて楽しいです。



